

令和元年度第2回
単位自治会セミナー
開催報告

令和元年12月
稲毛区地域振興課
地域づくり支援室

1. 行事概要

1 開催概要

1 行事名	単位自治会セミナー (令和元年度 第2回)
2 開催趣旨	町内自治会会長・役員等を対象に、町内自治会運営のノウハウや全国の先進事例を学ぶためのセミナーを開催し、区内の町内自治会の円滑な運営を支援する。
3 日時	令和元年12月8日(日) 13:30~16:30(開場13:00)
4 会場	穴川コミュニティセンター 1階 多目的室
5 参加人数	53名 (関係者含む)
6 対象	稲毛区内の町内自治会の会長・役員等
7 参加費	無料

2 プログラム

開 会 13:30	区長挨拶等
【第1部】 講 演 13:35~ 15:30	講演(1) 東京都立川市 大山自治会 相談役 佐藤 良子 氏 13:35~14:35(1時間00分) テーマ:大山自治会の活動について 講演(2) 合同会社フォーティR&C 代表 水津 陽子 氏 14:40~15:30(0時間50分) テーマ:運営担い手の獲得、育成 役員の適切な引き継ぎ
休 憩	10分間
【第2部】 意見交換 及び 質疑応答 15:40~ 16:30	「運営担い手の獲得・育成」についてテーマとし、稲毛区内町内自治会関係者(代表者3名)を交え意見交換を行う。 進 行 : 水津 陽子氏 登 壇 : 佐藤 良子氏 小仲台新向会自治会 宮永 稔 会長 ゆかりの杜自治会 日下部 徹男 会長 黒砂北部自治会 橋本 政博 副会長 15:40~16:20 参加者からの質疑応答 16:20~16:30
閉 会 16:30	

2. 講師紹介 (第1部 講演)



佐藤 良子 (さとう よしこ) 氏

東京都立川市 大山自治会元会長。現相談役。

宮城県生まれ。平成11年に自身の住む、東京都立川市の大山団地で町内自治会長に就任。

大山自治会において、1,600世帯の団地住民のニーズにあった町内自治会の再生計画を10年かけて実行し、加入率100パーセント、孤独死ゼロを実現。コミュニティビジネスによる財源強化や、24時間対応の連絡体制、自治会葬を手掛けるなど、佐藤氏の取り組みにより、大山自治会は「日本一の自治会」「日本で一番住みたい団地」等と称されている。

平成16年に内閣府男女共同参画局「女性のチャレンジ賞」、平成23年に「東京都地域活動功労者賞」他、多数受賞。著書に『命を守る東京都立川市の自治会』（廣済堂出版）がある。

現在も大山自治会の相談役として、「人が人にやさしいまち、必要とされる自治会」をモットーに、住民のための創意工夫した様々な自治会活動を行っている。



水津 陽子 (すいづ ようこ) 氏

島根県生まれ。高校卒業後、石油会社、官公署、税務会計事務所勤務などを経て、1998年、経営コンサルタントとして独立開業。地域資源を活かした観光や地域ブランドづくり、地域活性化・まちづくりに関する講演、コンサルティング、調査研究および執筆等を行っている。

2014年11月5日には、地方創生法に関連し、衆議院経済産業委員会に参考人出席。著書に「トラブル解消、上手に運営！自治会・町内会お悩み解決実践ブック」（実業之日本社刊）などがある。

3 - 1 . 登壇者紹介 (第 2 部 意見交換)

1	<p>合同会社フォーティR&C 代表 水津 陽子 (すいづ ようこ) 氏</p> <hr/> <p>地域活性化・まちづくりコンサルタント。プロフィールは前述のとおり。 第2部の意見交換では、進行役としてご登壇いただく。</p>
2	<p>東京都立川市 大山自治会 相談役 佐藤 良子 (さとう よしこ) 氏</p> <hr/> <p>「日本一の自治会」大山自治会の元会長。プロフィールは前述のとおり。 第2部のパネルディスカッションでは、パネリストとしてご登壇いただく。</p>
3	<p>小中台中学校区 小仲台新向会自治会 会長 宮永 稔 (みやながみのる) 氏</p> <hr/> <p>【小仲台新向会自治会について】 世帯数1,058世帯。区内の主要駅であるJR稲毛駅至近に位置し、区域内には戸建て・集合住宅が混在する。 区内に所在する188の町内自治会の中でも比較的大規模な会であるとともに、会の設立から70年を超える古い歴史を持つ。</p> <p>【プロフィール】 平成23年度より現職。 定年退職後、再雇用で働いていた時期に声がかかり、当会の副会長に就任した。2年間副会長を務めた後、現職となる。現在では第6地区町内自治会連絡協議会のなかでも要職を務めている。</p> <p>第2部のパネルディスカッションにおいて、パネリストとしてご登壇いただく。</p>

3 - 2. 登壇者紹介② (第2部 意見交換)

4	<p>山王中学校区 ゆかりの杜自治会 会長 日下部 徹男 (くさかべ てつお) 氏</p> <hr/> <p>【ゆかりの杜自治会について】 世帯数74世帯。当会は、新たに分譲地に越してきた住民同士で平成26年に組織された新しい会である。その土地柄からか、会員の平均年齢が若く、70歳以上は十数名しかいないというのが特徴的である。</p> <p>【プロフィール】 平成27年度より現職。設立当初の会長が1年で辞任したため、以降は2代目会長の日下部氏が務めてきた。会の歴史も浅くまだまだ色々なことを模索中であること、また他の会と比べ小規模でありコミュニケーションがとりやすいことから、ニーズを収集し方針をひとつひとつ決定していくことを大切にしている。</p> <p>第2部のパネルディスカッションにおいて、パネリストとしてご登壇いただく。</p>
5	<p>緑町中学校区緑・黒砂 黒砂北部自治会 副会長 橋本 政博 (はしもと まさひろ) 氏</p> <hr/> <p>【黒砂北部自治会について】 世帯数438世帯。近隣に所在する千葉大学の学生などが暮らすアパートをはじめ、戸建てと集合住宅が混在するエリアである。昭和30年代から存続し、古い歴史を持つ。</p> <p>【プロフィール】 2年前より副会長を務める。その以前は、班長、理事を歴任。 理事に就任して3年ほどの間に、当時の役員が次々と、急な病気などで役を退くこととなり、現職に就くに至った。自治会内には3名の副会長がおり、「総務」「防災」「環境」の3つの部会をそれぞれ取り仕切っているが、橋本氏は「総務」を総括する副会長として、広く全体の調整役を務めている。取り扱う業務は多岐にわたり、会議の段取りや仕切り、イベント開催や会報の発行などがある。</p>

4 - 1. 当日の様子 (第1部 講演)

第1部 講演① 東京都立川市 大山自治会 相談役 佐藤良子氏による講演

要旨：大山自治会の活動紹介を行うとともに、佐藤氏が就任以後行った町内自治会再生から現在に至るまでの取組の経過と、自身のモットーである「人が人にやさしいまち、必要とされる自治会」とは何か、ご自身の経験に沿ってご講演いただいた。

第1部 講演② 合同会社フォーティR&C 代表 水津陽子氏による講演

要旨：前回開催後のアンケートにて「詳しく聞きたい」という声が多かった、「役員等運営担い手の獲得・育成に関すること」をテーマとして、新たな担い手の掘り起こし手法や活動の負担を減らす取組などについてご講義いただいた。また、講演の後半では、参加者を5～6人程度のグループに分け、グループセッションにより、テーマに沿った課題や好事例などを参加者同士で意見交換した。



(講演①)



(講演②)



(講演②グループ意見交換の様子)

4 - 2. 当日の様子（第2部 意見交換）

第2部の意見交換は以下のとおり進行した。以下に要旨を記載する。（敬称略）

（進行・水津）「担い手の獲得・育成」ということで話を進めていきたい。本日は規模もそれぞれ、また会長・副会長など立場もそれぞれということで、有意義な意見交換となると期待される。

さて、担い手の獲得、育成について、それぞれの会で行う独自の取組や工夫があればお聞かせいただきたい。

（宮永） 担い手の獲得ということで、当会はまさに悩んでいる。1, 100弱の世帯ではあるが、戸建てと集合住宅が混在し、40%くらいは賃貸の集合住宅ではないか。高齢化そのものも進んでいる。ただ、若い人もいるし、入会してくれないかという決してそうではない。入会自体はしてくれる。しかしながら、行事などに積極的に参加してもらい、その後につなげたいという当方の思惑は、なかなかうまくいかない。

先ほどの講演を聞いて、開催時だけになってしまって、その前後、普段からのコミュニケーションが図られていないことが問題だったのかと気づき反省をしている。会の中のコミュニケーションを今後豊かにしていきたい。

会則上は、会長1名、副会長3名「以上」、その他会計1名「以上」としている。だれでも、いつでも会の運営に参加できるよう、あえて制限を設けていないというささやかながらの工夫である。

（日下部） 当会は紹介にあったように300名弱のメンバー、半数以上が子供である。大半がお勤めに出ており、70歳以上は少数。なお、全世帯が戸建てである。発足から約6年。現在のところは、発足間もなく会費も繰り越しが潤沢にたまっているわけではないので、合議によりインフラ面（ごみステーションや防犯街灯、防犯カメラ）などに会費を投資し、会員の満足度を高めることとしている。

当面インフラ整備が優先されたが、その後、避難所運営委員会や交通ボランティアなどを今、徐々に発足させ、住みよいまちづくりを皆で進めているところである。

親睦のためにと、年2回公園草刈や防災訓練の後には、炊き出しとして「芋煮」などをやることがある。また、「子供向けのイベントで親子を巻き込む」という話があったが、AEDの訓練なんかは子供が案外面白がってやるものだ。こんな工夫をしながら親睦を深めることを考えていきたい。

4 - 3. 当日の様子（第2部 意見交換）

- (橋本) 自分たちの自治会は以前からイベントや活動内容が多い。単位自治会独自の敬老会を行っているなどというのは今は珍しいと思う。周辺自治会との合同イベントもあるので大忙しである。シルバー人材センターのようなイメージで、町内のお年寄りの手助けというか、電球の取り換えなどちょっとした困りごとや作業を自治会がやってあげるようなサービスもある。
- そんなことで、活動が活発であるので担い手がいるかといえばそうではなく、行事に来る親子連れを見て、「やってくれないだろうか、関心はないだろうか」と目ざとく観察する日々である。
- 先ほども話がでたが、やはり継続しない、イベント単発で終わってしまうのが良くない。
- また、班長は輪番制なのだが、その「班長会」をあえて小グループに区分けし発言しやすい環境をつくったうえで、「この半年間に地域で起きた問題」などを議論する場を設ける工夫をしたりしている。
- たまたま回ってきた班長という立場ではあるが、役員からの一方的な連絡事項のみという「班長会」のやり方を改善した。班長も意見を言う場を設けたわけだが、これが存外積極的な参加につながっていると思う。こういった班長の中から、次の役員をやってくれそうな人を見つけ出していきたいと今は考えている。
- (佐藤) 皆さん頑張っているなと実感している。うちは、会長1人、副会長5人、会計2人・・・と会則にあるが、これは住民の推薦で決めるとしている。面白かったのは、皆それぞれ自分に近い人を選ぶ傾向にあるので、ある時、副会長の年代が20代から70代まで見事にバラバラということがあった。住民が自分で選んでいるので、全員が選んだ人を応援する義務がある、として、会の約束事としている。
- また、イベントの話があったが、イベントは当会はすべて実行委員会形式で行う。役員はオブザーバーとしてのみの関わりである。すべてのイベントがその都度スタッフ募集により行い、役員に負担感を感じさせないイベントの開催手法を工夫している。
- 高齢者や障害のある方などが役員になる時には、必ず2人以上つけることとしているが、役員の「サポーター」制度もある。やってみようと思ってもなかなか踏み出せないことはあると思うが、サポーター制度のおかげで「やってみよう」という後押しになる。高校生以上なら、誰でも役員になれることとしているので、サポーターが付きながら高校3年生が役員を務めたこともある。
- 皆ボランティアでやっているなので、心で解決するしかない。「こんなことをやっています」「この活動が大切です」と、住民に訴えることも必要だと思う。

4 - 4. 当日の様子 (第2部 意見交換)

- (進行・水津) 先ほどのグループセッションで出た話をみると、役員を選ぶ際には立候補であったり、選出のための委員会を設けて決めるような会があるようだ。今登壇者から出た話は、参考になる部分がありそうだ。ところで、後継者を育成するという観点ではいかがか。皆さんどんなご苦労があり、工夫があるのか、教えていただきたい。
- (宮永) 本題と離れるかもしれないが、私たちは役員会では4つの決め事を設けている。1つ目が、私事(家庭・仕事など)が優先、自治会の活動は二の次ということ。2つ目が、役員会の時間はなるべく短く。議題は事前に上程し、役員は事前に目を通して臨むこと。3つ目は関連して、会議時間の延長はしないこと。時間にシビアに、議題が残っていてもタイムリミットがきたら終わりにすること。4つ目にパソコンの使用は、得手不得手があるので助け合っていくこと。これらを決めている。育て方ということではないが、より負担を減らして運営していくためのルールである。役員の育て方といった場合、最初は何をしていいかわからないわけなので、当会には環境やら防災やら、イベントを行う文化やら7つの委員会があり、それらが個々の活動の主体であるので、まずは委員会に所属してもらい、自分の得意分野から、徐々に会のことを知ってもらう手段をとることもある。
- (日下部) 当会ではアンケートを重視している。全家庭に「立候補しませんか、または推薦はありますか」として聞いて回っている。班長は輪番制であるが、この人は続けてやってくれそうという人がいれば、まずは理事から、お願いして段階的に時間をかけて一緒にやっていくスタンスである。
- (橋本) 当会も、自薦他薦願いますと毎年家庭に用紙を配布しているが、一回も帰ってきたことがなく、役員の悩みの種である。これまででは、やはり班長から理事に引き上げて、さらにその上の役職へ、というコースが多い。
- (進行・水津) 佐藤さんはいかがですか。自治会再生の取組にご尽力され、後継者を見つけるのはなかなか難があったのではないかと。

4 - 5. 当日の様子 (第2部 意見交換)

(佐藤) 行事をやったらやりっぱなしが良くない。せっかく行事をやったのだから、終わった後を大事にしてほしい。当会では反省会として飲み会をやるが、案外こういった場では本音が聞けるし、貴重な意見が出たりするもので、親睦、仲間意識がイベントそのものよりも深まる。飲み会に女性が来てくれないという話もよく聞かすが、女性の参加しやすい日時をアンケートに取ってみてはどうかと思う。会議は必ず1時間。どんな日時が参加しやすいか、これもアンケートで決める。役員が46名いるので、前もって上程することは宮永さんのところと同じ。会議が簡潔であり、時間をとられないことは大切である。自分の経験で言えば、後継者を探すとき、当初何人か目星をつけていたが、引越してしまったり、固辞されたりと、なかなかうまくいかなかった。容易なことではない。今の会長はずっと声をかけ続け、交代後も私もサポートを続けている。事務局も支えている。「あなただけではない、皆でやるんだ」というメッセージを伝え続けなければならない。

(進行・水津) 後継者にモチベーションを高めってもらうことは大変である。佐藤さんは、講演会などに後継者をお連れして行くこともあると伺っている。この活動が価値のあることだ、面白いことだと、若い世代に伝えていくことが、マインドを継承していくことが、ゆくゆく将来の後継者を育てることにつながるかもしれない。長い目で見て、ステップを踏んでいくことが必要である。皆さんのご意見にあるように、理事から会計、会計から副会長、副会長から会長とステップを踏み、徐々に会を知っていただき、それをステップごとに支え、皆で一緒に育っていく意識も肝要だと思う。

意見交換に引き続き、参加者からの質疑応答を受け付けた。

(進行・水津) これまでの話を聞いて、一般の参加者の方から、登壇者に聞きたいことはあるか。

(参加者) 佐藤さんに聞きたい。孤独死ゼロ、交通事故ゼロとお伺いしたが、空き巣はどうか？

(佐藤) 空き巣もゼロ、オレオレ詐欺もゼロである。自治会は広報が大事だと思っているので、「こんなことがありました」と皆で共有していることによって意識が高まる。警察ばかりを当てにしているはいけない。町内に落書きをした者を自ら突き止め、注意をただけではなく、未成年の行いだったのでその親に費用を弁済させたこともある。これは一例だが、「自分たちの町は自分たちで守る」という意識をもち、実際に行動に移すことを見せていくことが効果的である。行動に移すことでマインドが伝わる。「気づく町」であることも大切である。安全だったり、ごみ一つ落ちていない町には、裏に誰かの尽力があるわけだが、それに気づいたものが、その感謝を行動で示すことも大切だと、心掛けている。

4 - 6. 当日の様子 (第2部 意見交換)

(参加者) 佐藤さんに聞きたい。当会では、政治、宗教、商売、これらは自治会で排除することになっている。自由であるべきだという考えもあると思うが、どう整理しているのか。

(佐藤) 当会も会則に政治、宗教、訪問販売の禁止をうたっている。任意団体ということで、会則に入れても問題ないと聞いている。自治会というのはどういうものかと考えたときに、政治や宗教の色に染まるのは本来の趣旨ではないと思っている。

(進行・水津) 法律に規定があるものについては、それに従うのが当然だが、その外で、公序良俗に反しない範囲であれば、会として決めていただくことに何ら問題はない。つまり、政治信条など、個人によりけりな部分は、会としてひとつに絞ったりしない、会の中に持ち込まない、と運営ルールを取り決めることは問題ない。ただし、あくまでも総会などで合意形成を図ったうえでということにはなる。

以上



意見交換の様子

5 - 1. アンケート結果

参加者に対し、今後の運営の参考とするため、アンケート調査を行った。その結果を報告する。

基礎的事項について

【参加者】参加者53人のうち、町内自治会関係者としての参加者49人に対し、アンケートを配布した。

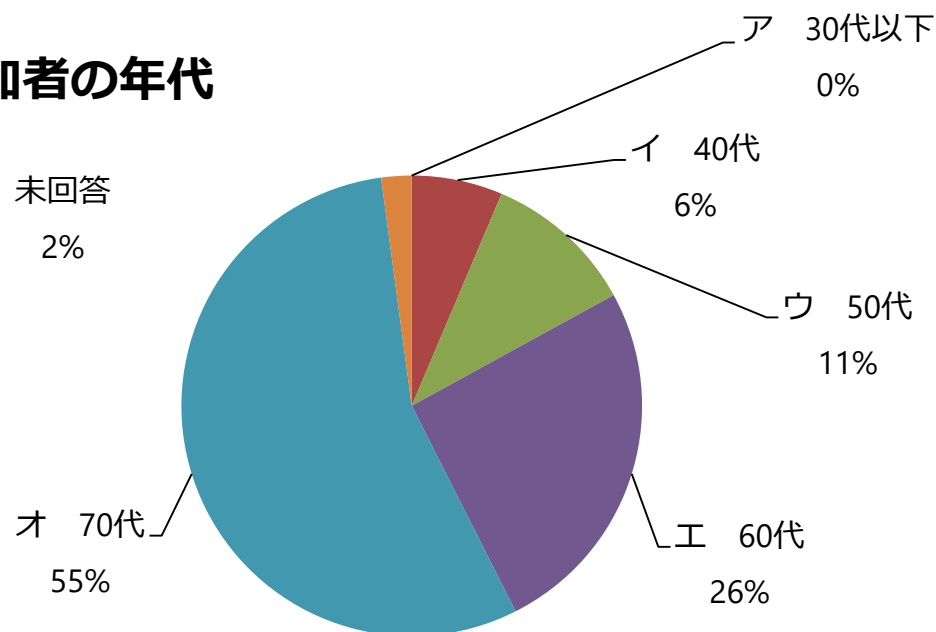
【有効回答数と回答率】47人より回答を得た。回答率は95.9%。

【参加者の年代】

あなたについてお伺いします。

(1) 年代 (選択式)	ア 30代以下	イ 40代	ウ 50代	エ 60代	オ 70代	未回答
	0	3	5	12	26	1

参加者の年代



5 - 2. アンケート結果

令和元年第2回目のセミナーについて

- ・「総合的な満足度」、「本日のセミナーのテーマ・構成について」、「講師について」、「参加した成果」の4項目を伺った。
- ・「総合的な満足度」としては、「大変満足」・「満足」が併せて87%、「普通」が9%。
「あまり満足していない」・「満足していない」が併せて4%であった。総じて参加者の満足度は高いと伺える。
「あまり満足していない」・「満足していない」者の理由として、「当方の自治会には当てはまらなかった」などの意見があった。
- ・今回の「テーマ・構成についての満足度」としては、「大変満足」・「満足」が併せて83%、「普通」が13%。
「あまり満足していない」・「満足していない」を選択した者はいなかった。
- ・「講師への満足度」の項目は、いずれの講演についても「大変満足」・「満足」が併せて70%を超え、高い評価を得た。
特に他都市の事例紹介も兼ねてご登壇いただいた東京都立川市大山自治会 顧問 佐藤氏による講演の評価が高い。
- ・また、区内の事例紹介も兼ねる「登壇者による意見交換」については、「大変良い」・「良い」が併せて62%、「普通」が21%であった。「少し悪い」・「悪い」は併せて2%であり、その理由としては「時間が短い」などの意見がある。
- ・本日の成果としては、「運営の担い手の獲得・育成に関すること」が31%と最も多く、次に、「区内の町内自治会の取組事例・運営の工夫に関すること」が21%、「他都市の活動事例紹介」20%と続く。講演・意見交換など様々な角度から、実例として紹介をしたことが、満足度を高める結果となった。

【総合的満足度】本日の総合的な満足度はいかがですか。（選択式）

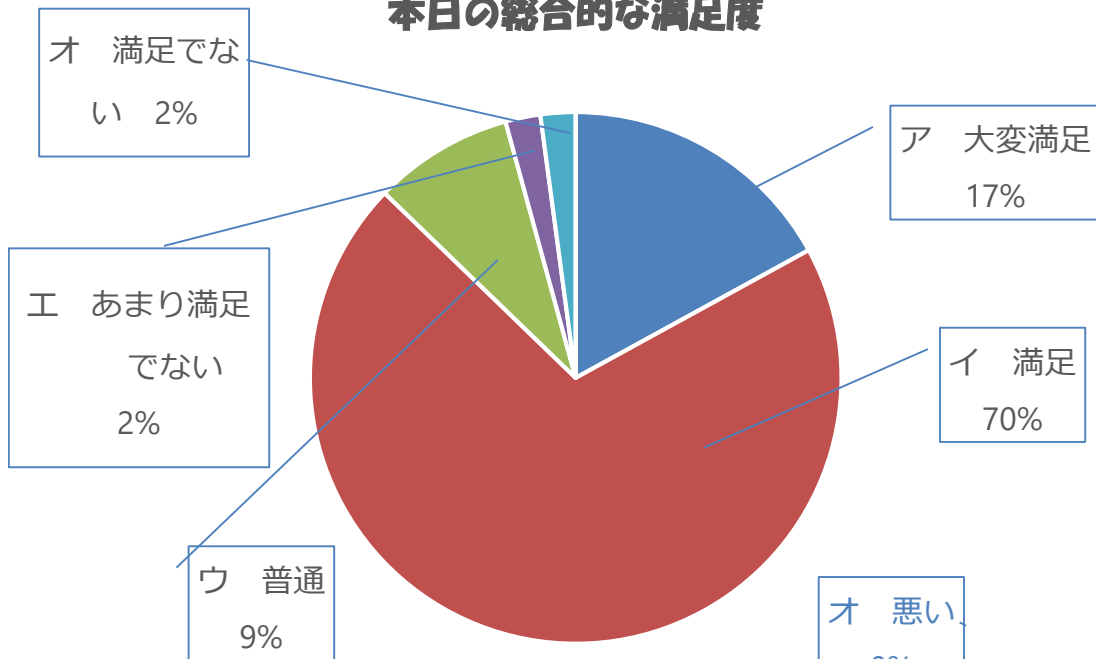
ア 大変満足である	イ 満足である	ウ 普通	エ あまり満足していない	オ 満足していない	カ 未回答
8	33	4	1	1	0

【テーマ・構成】本日のテーマ・構成はいかがですか。

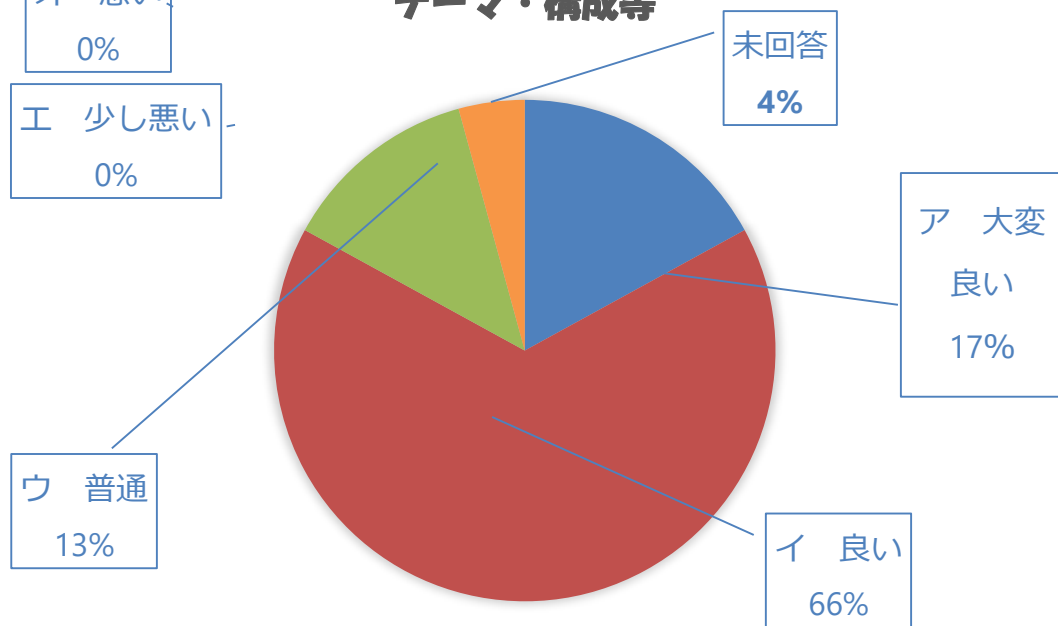
ア 大変良い	イ 良い	ウ 普通	エ 少し悪い	オ 悪い	未回答
8	31	6	0	0	2

5-3. アンケート結果

本日の総合的な満足度



テーマ・構成等



5 - 4. アンケート結果

【講師】 本日の講師の説明は分かりやすかったですか。
(選択式)

(講演①)

ア 大変良い	イ 良い	ウ 普通	エ 少し悪い	オ 悪い	未回答
--------	------	------	--------	------	-----

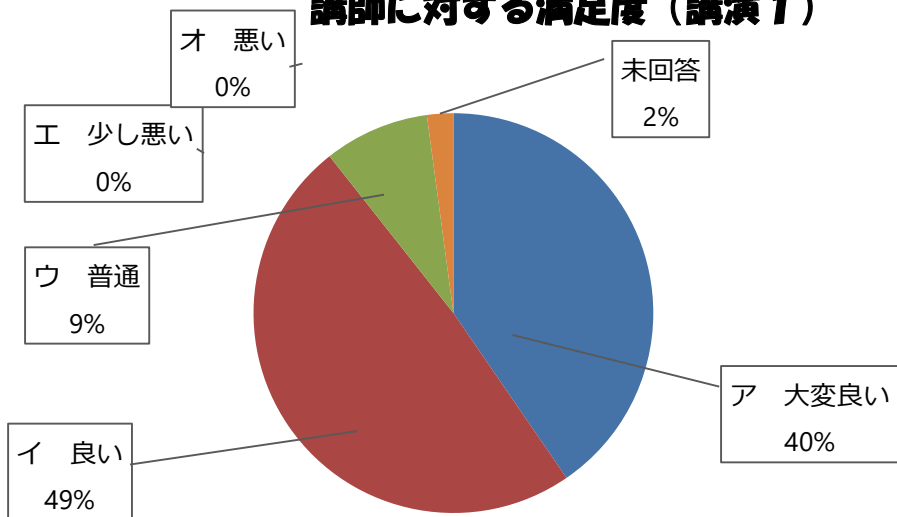
19	23	4	0	0	1
----	----	---	---	---	---

(講演②)

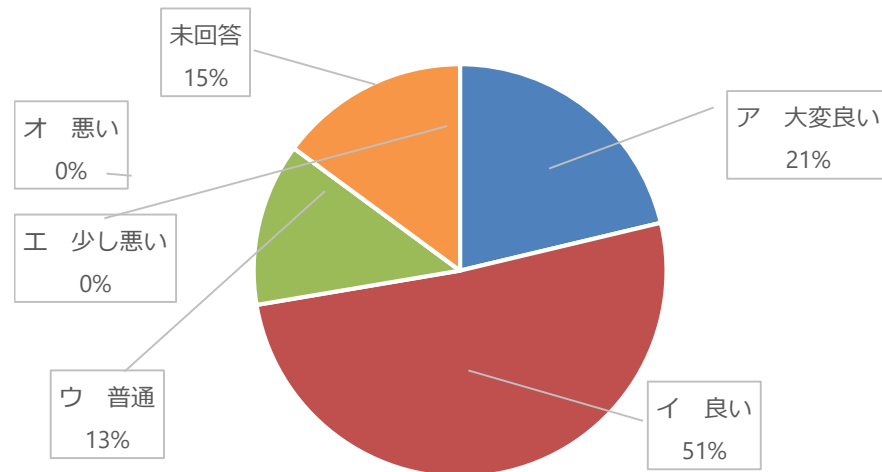
ア 大変良い	イ 良い	ウ 普通	エ 少し悪い	オ 悪い	未回答
--------	------	------	--------	------	-----

10	24	6	0	0	7
----	----	---	---	---	---

講師に対する満足度 (講演 1)



講師に対する満足度 (講演 2)



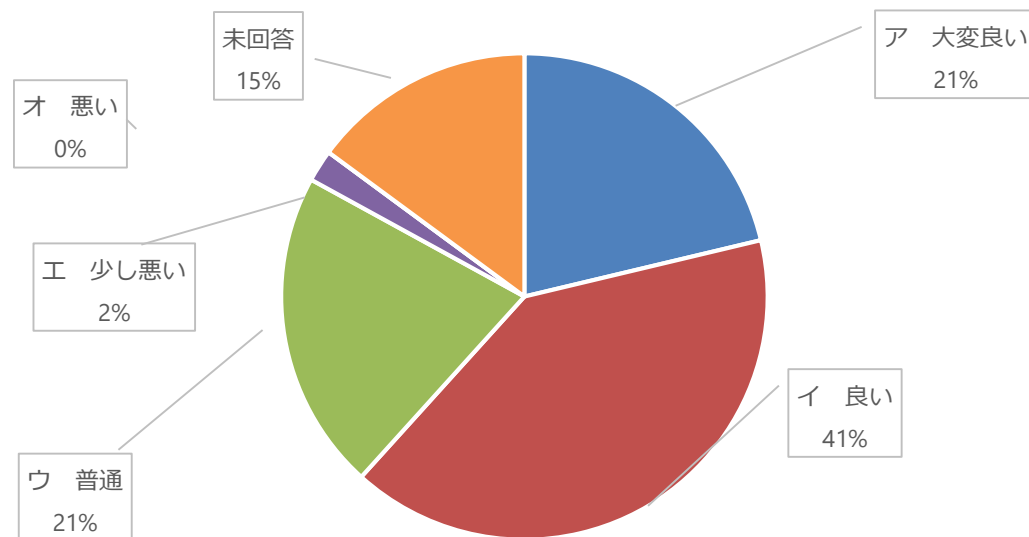
5 - 5. アンケート結果

本日の意見交換はいかがですか。

(意見交換)

ア 大変良い	イ 良い	ウ 普通	エ 少し悪い	オ 悪い	未回答
10	19	10	1	0	7
その他として					
・時間が短い					

意見交換に対する満足度

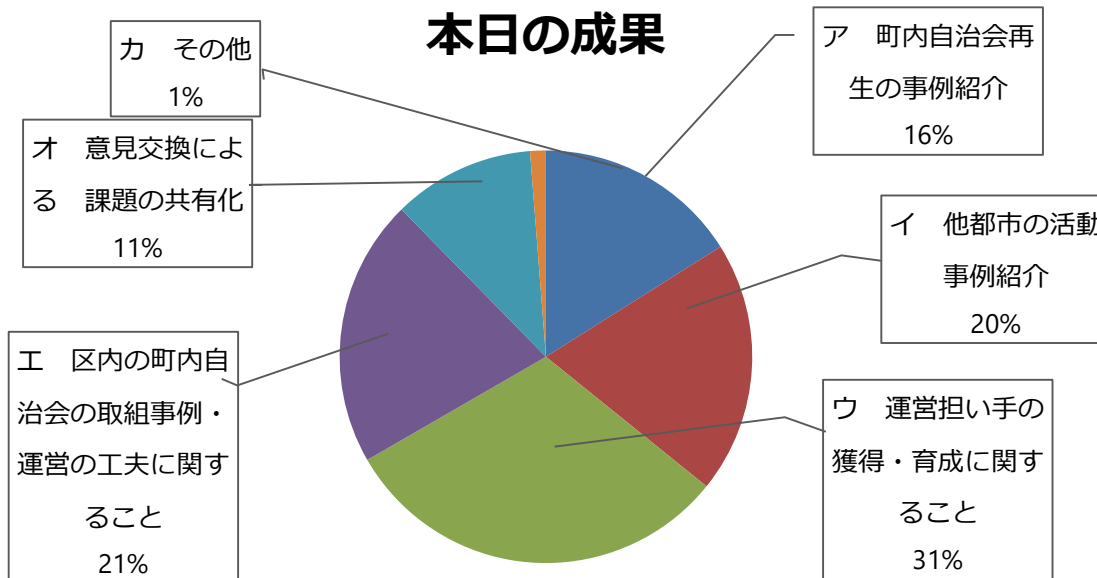


5 - 6. アンケート結果

【本日の成果について】

(1) 本日のセミナーで参考になった点はどのようなことですか。(選択式、複数選択可)

ア 町内自治会再生の事例紹介	イ 他都市の活動事例紹介	ウ 運営担い手の獲得・育成に関すること	エ 区内の町内自治会の取組事例・運営の工夫に関すること	オ 意見交換による課題の共有化	カ その他
13	16	25	17	9	1
その他として					
・人材ボランティアの募集が参考になった					
・他都市の地域づくりが素晴らしい。					



5 - 7. アンケート結果

(2) 今後の運営にぜひ取り入れたい内容はありましたか？（自由記述）

- ・担い手の獲得～活動の負担を減らす方策
- ・規模、歴史、世代層等がすべて違う町内自治会の役員との意見交換は参考になりました
特に担い手獲得方法は参考になりました
- ・学生の活動参加
- ・コミュニケーション、子ども、親子を巻き込むイベント
- ・住み続けたい地域をつくる。どうやったら空き家を減らせるか、若い住人を増やせるか
- ・人材バンクの活用
- ・大山自治会の報告は大変参考になった。人材バンクの設置、ビジネスの展開等
- ・担い手の育成について「サポーター制度」は参考になった
- ・住民主人公の地域づくり、人材バンクによる住民の特技の活用
- ・創意工夫、アイデアによるまちづくり
- ・地域づくりが今は課題、シャッター街の活性化などにも通じる
- ・担い手の育成。育成に向けた組織づくりが参考になった

5 - 8. アンケート結果

今後のセミナーに関すること

令和元年度の開催手法に対する満足度や今後の開催手法の希望について、選択式で質問した。（複数回答可）

なお、参考として、今年度の開催手法は以下のとおりである。

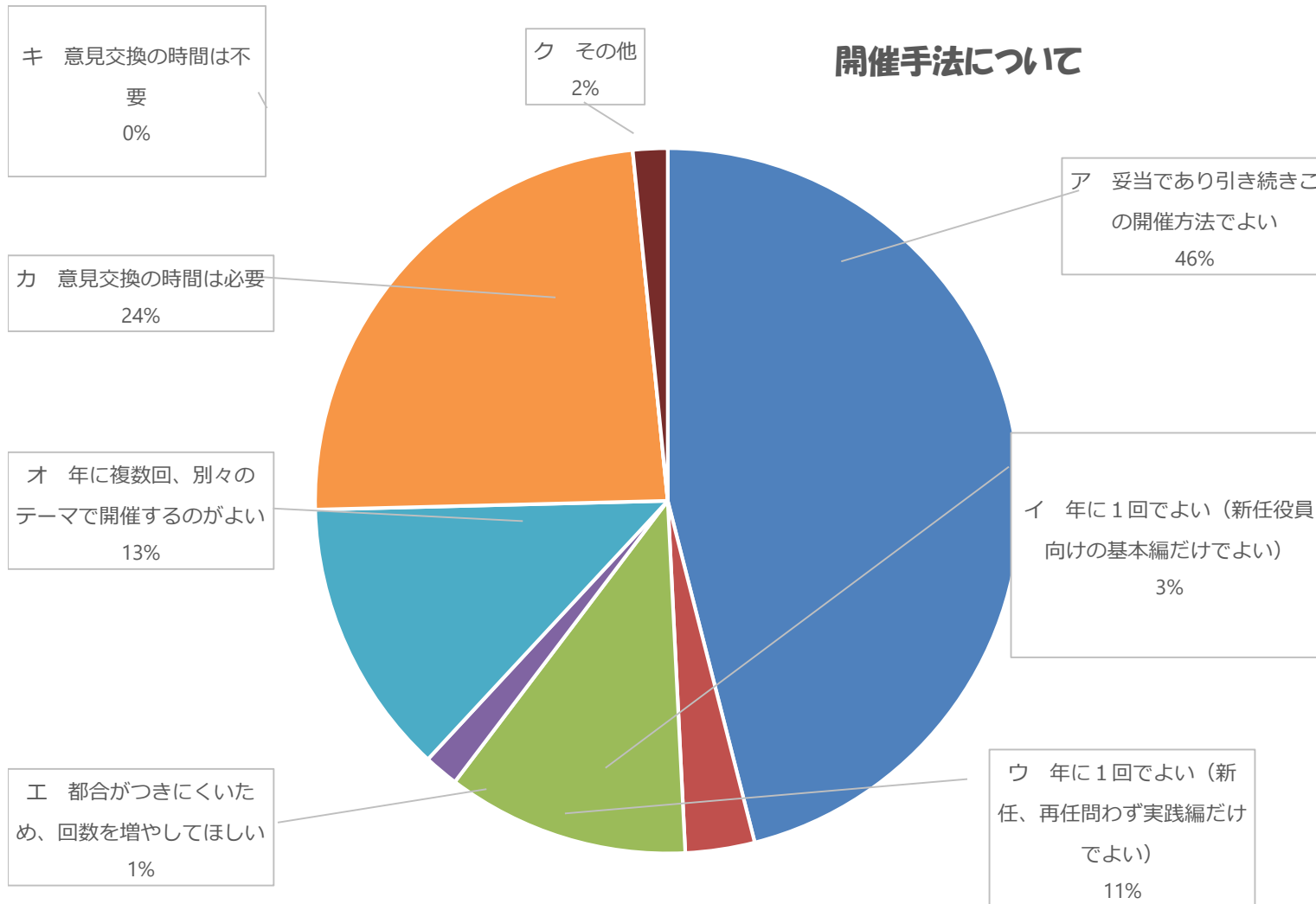
- ①第1回目は役員改選の時期を考慮し、7月に「基本編」を開催した。町内自治会運営の基本を広く取り扱い、講義及び参加者全員参加の意見交換方式で開催した。
- ②第2回目は「実践編」として開催した。アンケートなどで需要が多かった「担い手の獲得・育成」をテーマに、講演及び区内の代表者による意見交換方式で開催した。

結果としては、「妥当であり、引き続きこの開催方法でよい」が46%と約半数となり、ついで、「意見交換の時間が必要」（24%）、という声が多い。また、「年に複数回、別々のテーマで開催するのがよい」（13%）、「年に1回で良い（実践編だけで良い）」（11%）、という意見が拮抗して票を集めたが。テーマを絞り、実践的な内容を取り扱うことが求められていると考えている。これらの意見を総合し、次年度以降の開催手法を検討していく。

ア 妥当であり引き続きこの開催方法でよい	イ 年に1回でよい（新任役員向けの基本編だけでよい）	ウ 年に1回でよい（新任、再任問わず実践編だけでよい）	エ 都合がつきにくい ため、回数を増やしてほしい	オ 年に複数回、別々の テーマで開催するのがよい	カ 意見交換の時間が必要である	キ 意見交換の時間は不要である	ク その他
29	2	7	1	8	15	0	1
【その他として】							
セミナー参加者は輪番制により交代することも大いにあり、それに合った内容にしてほしい。							

5 - 9. アンケート結果

開催手法について



5 - 10. アンケート結果

今後も開催する場合、どのような内容を希望しますか。（自由記述）

- ・ 賃貸物件の町内自治会未加入の対策
- ・ 役員交替のマニュアル化（町内会長、役員、班長等について）
- ・ 実践編を各方面有識者から拝聴したい
- ・ 女性の多数参加が欲しい
- ・ 1年生役員の方の考え方について、新しい1年生役員の考え方についてもっと意見交換がしたい
- ・ 基本編、実践編があることを知らなかった。もっとアピールしてほしい。
- ・ 町内自治会の規模によると思うが、他自治会は行事、サークル活動はどのようなことを行っているのか知りたい
- ・ 今回の内容が良い
- ・ 担い手獲得の問題は恒常的課題である故に次回以降も必要だと感じる
- ・ 行事の事例発表はとても参考になると思います
- ・ 戸建てと集合住宅、混在、世帯数を分けてグループ化してもらおうと課題が共有化され対応策、解決策を見つけやすいと思う
- ・ 事前にテーマについてのアンケートを実施し、その有効な事例や取組を収集し、それを共有しつつ、講演と意見交換の2本立てが良い
- ・ 2時間で終わるようにしてほしい

5 - 1 1 . アンケート結果

その他の意見、感想など

【セミナーの内容に関すること】

- ・大山自治会の佐藤良子講師の話をもう一度聞きたい。また、一戸建て地域の自治会活動で成功している事例が聞きたい
- ・グループ割は似たような環境の自治会と組んでもらうようにして、話が聞きたい
- ・持続可能な地域づくりの話をもっと聞きたい
- ・戸建て、集合住宅、またはその混在、世帯数などで自治会をグループ化してもらおうと課題が共有化され対応策、解決策が見つけやすい
- ・事前にテーマについてのアンケートを実施し、その有効な事例や取組を収集し、それを共有しつつ講演と意見交換の2本立てが良い
- ・グループワーク（講演②内）の時間が短く、項目が多く、まとめまで持っていくことができなかった

【セミナー全般に関すること】

- ・当自治会は毎年役員は交代制であるので、こうしたセミナーは続けてほしい
- ・会場の音響が悪い
- ・全体の構成で2時間としてほしい
- ・セミナーはもう少し参加者が欲しい

【その他関連するご意見】

- ・自治会の会長になると、地域の役員が当て職となることがあり、自分のところの運営以外に仕事が増えることがあるが周囲の人には理解できないことがある
- ・今後は、行政と自治会とのコミュニケーション（役員会に出席する等）が欲しい

以上